

平成30年第1回燕市議会定例会

一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一 括 質 問	一 問 一 答
2月28日(水)	午後	1	藤井 秀人 議員		○	
		2	堀 勝重 議員		○	
		3	山本 知克 議員		○	
3月 1日(木)	午前	4	柳川 隆 議員		○	
		5	渡邊 雄三 議員		○	
	午後	6	樋浦 恵美 議員		○	
		7	大原 伊一 議員		○	
		8	土田 昇 議員		○	
6日(火)	午前	9	山崎 雅男 議員		○	
		10	長井由喜雄 議員		○	
	午後	11	小林 由明 議員		○	
		12	齋藤 信行 議員	○		
		13	大岩 勉 議員		○	
7日(水)	午前	14	タナカ・キン 議員		○	
		15	宮路 敏裕 議員		○	
	午後	16	吉田 勝利 議員		○	
		17	山崎 光男 議員		○	

平成30年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 今後の公共施設の対応について	(1) 公共施設の統廃合について	①今回、計画中の保育所統合も含め、今後発生する公共施設の統廃合の考え方と、施設の跡地利用についての考え方はあるのか伺いたい。 ②統廃合される施設が投票所である場合、今後はどのような対応を考えられているのか伺いたい。
		2. 都市計画道路について	(1) 都市計画道路の見直しの考え方は	①公的施設、商業施設が集中することによって、交通の流れが変わり、道路の新設も考えなければいけない状況が発生する場合、どのような対応策を考えているのか。 ②今後の状況を考えると、人口集中地域と工場誘致地域のアクセスの充実を図る必要性があると考えますが、新たな道路新設、見直しは考えられているのか。
		3. 除雪対応について	(1) 通学路の歩道除雪の対応について (2) 豪雪に対する準備について	①早朝の降雪で、小学生の通学時間帯まで除雪が出来ない場合、今現在どのような対応を行っているのか。 ①空き地等を利用する雪捨て場の確保は事前にされていたのか。 ②渋滞が予測された橋、踏切等の対策準備は万全だったのか。
2	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 平成29年度施政方針について	(1) 3つの人口増戦略について	第2次燕市総合計画の2年目となる平成29年度の事業において、「定住人口」「活動人口」「交流・応援(燕)人口」の3つの人口増戦略に取り組んでこられたところであります。 ①人口増戦略における取り組みの結果、どの程度定住人口増につながったのか伺います。 ②3つの人口増戦略にかかる事業の費用対効果について、どのように受け止めておられるのか伺います。 ③今後、定住人口増に向けた新たな取り組み等について伺います。
		2. 少子高齢化問題について	(1) 子育て支援と少子化対策について (2) 高齢者対策について	健やかに子どもを産み育てることができる環境づくりとして、特定不妊治療費助成事業等や、産後ケア事業等々に取り組んでこられたところでありますが、今後、より充実した「安心して産み育てられる子育て支援」が必要ではないかと思っております。 ①平成28年3月議会に「奨学金の一部免除制度」についての一般質問をいたしました。既に1年が経過しますがその後の検討の状況について伺います。 ②子育て支援において、今後、新たにどのような支援を行っていかれるのか、具体的な施策や取り組み等について伺います。 65歳以上を高齢者とした場合、内閣府の「平成28年度版高齢社会白書」による国の現在の高齢化率は26.7%、燕市の平成28年10月1日現在の住民基本台帳による高齢化率は28.8%であり、国の数字を上回る状況であります。今後、燕市においても高齢化が進むことが大いに予測されることから、 ①高齢者の方々がこの先安心して暮らせるための、燕市として今後の高齢福祉の対策、取り組み、ビジョン等について伺います。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	堀 勝重 (一問一答方式)	3. 財政運営について	(1)平成30年度当初予算編成について	<p>平成29年12月議会で同僚議員の一般質問において、当局からの答弁では、平成30年度当初予算編成において、各種事業の施策の見直しにより、歳出の縮減を徹底するとのことでありました。</p> <p>①平成30年度当初予算編成において、事業のスクラップについての具体的な内容等について伺います。</p> <p>②一般会計におけるスクラップした事業費について伺います。</p> <p>③予算編成での事業のスクラップの評価について伺います。</p>
		4. 燕市のまちおこしについて	(1) 與右衛門無言館について	<p>平成30年4月4日に燕市牧ヶ花地内に、「多くの子どもたちから歴史や文化に触れてもらい、未来への継承の場として活用してもらおう」という目的で、一般財団法人「與右衛門無言館」がオープンする運びとなっております。古文書、絵画、パンダのはく製、屋久杉の原木やついたて、背丈以上ある壺や掛け軸、ベネチアングラス、創作こけしなど、多岐にわたり数多くの驚くべき品々が展示されており、まさに圧巻であります。</p> <p>①展示品の一部は既に燕市に寄付されているとお聞きしておりますが、現在、燕市としてはどのように関わっているのか伺います。</p> <p>②今後、この「與右衛門無言館」を官民協働により充実させ、新たなまちおこしの一つの拠点として活かせるものと思っておりますが、市の所見を伺います。</p>
3	山本 知克 (一問一答方式)	1. 学校教育について	(1) 学校教育について	<p>①障害者差別解消法施行後の対応について。 学ぶ機会の均等を基礎として実現するため、障がいのある児童生徒に対する教育を小・中学校等で行う場合、「合理的配慮」が求められる。特別支援学級への用具給付と学校での「支援体制・課題」について伺う。</p> <p>②ひとり親家庭等のアンケート結果からも、学習時間や進学について重要視されていることが伺えるが、放課後学習支援体制の現状や課題について伺う。</p> <p>③「地域コーディネーター・学習支援員・介助員」の配置状況と課題について伺う。</p> <p>④学校におけるボランティアの現状や課題について伺う。</p>
		2. ひとり親家庭等の生活実態アンケートについて	(1) アンケート結果からみえてきたこと	<p>①昨年8月に行われたアンケートで見えてきた課題、ひとり親家庭の生活アンケートの結果を受け、どのような支援を考えられるか今後の方向性について伺う。</p> <p>②燕市は子育て支援が充実している。子育て支援事業の利用について、幼稚園・保育園・こども園のほか、事業を展開しているが、児童館・児童センターは50%、児童クラブでは40%の利用にとどまる。なかまの会については半数の方が知らないと回答しているが、課題について伺う。</p> <p>③公的給付では、児童手当、児童扶養手当、就学援助以外の利用が少なく、自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金については制度すら知らないとの回答も多い、必要とされる方への情報提供について伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	山本知克 (一問一答方式)	3. 地域の見守りについて	(1) 民生委員児童委員の欠員について	<p>① 昨年の第1回定例会でも、地域の見守りの要となる民生委員児童委員の欠員について質問をしている。6名の欠員が報告されていたが、その後について伺う。</p> <p>② 地域の見守り役として、自治会長と協力しながら活動をしている民生委員児童委員の活動内容は多岐にわたる。ひとり暮らしの高齢者世帯の増加、閉じこもりや、貧困などで困っている方を、関係機関へ紹介する重要な役割を担っている。活動をどうとらえるか伺う。</p> <p>③ 日々の活動としてさまざまな問題解決に奮闘されているが、自治会長と民生委員児童委員の役割については車の両輪との例えがある。今後の連携の必要性について伺う。</p> <p>④ ひとり親家庭等の生活実態に関するアンケート調査報告書でも、地域全体で取り組むことが大切との記載があり、地域との関わりの重要性があげられている。</p> <p>回答から主に相談相手として、「友人・知人、親」があげられている。行政の対応として、福祉相談窓口に「子どもの貧困対策」の機能を付け加える説明もあったが、窓口相談の時間も限られている。委員の活動が今後ますます重要視されるが、役割としてどう考えるのか。</p>
4	柳川隆 (一問一答方式)	1. 産業振興行政について	(1) 産業史料館本館等改修のこと	<p>① 以前説明のあった設計概要の6ページ、本館展示リニューアル、展示イメージの中で「根底にある価値」「根底の価値」「根底となった価値」と3回同じような表現が記されているが、根底にあるとは何を指すのか伺う。</p> <p>② 根底にある価値、この文言を3つのコーナーに区切られたどこかに掲示するのか伺う。</p> <p>③ 作業場再現のコーナーで「矢立」と「鑪」の作業場が無いのはなぜか伺う。</p> <p>④ 去る12月22日、定例会最終日の議員協議会でのこの改修についての説明後、担当課長と私との間に交わされた質疑で担当課長は「根底にある価値というのはなかなか一言では言えないですけども…」と答えられ、最後に「…そういうまさに燕ブランド、それが価値だと思っています。」設計概要の6ページには燕ブランドの根底の価値を発信と書いてある。議員協議会での課長の答弁はおかしいと思うが伺う。</p> <p>⑤ 今年の元日から新潟日報に8回にわたって連載された「燕三条、町工場物語」の中で、連載の2回目に「産地は苦境のたびに強さを身に付け、不死鳥のまちと呼ばれるようになった」。連載の4回目「大田区や東大阪市では海外進出などで空洞化が進んだ。燕三条はその道を歩まず踏ん張っている。だからこそ今後さらに輝く可能性がある」。5回目には「不況は何度もあったが、燕の会社は仕事が無いからといって諦めずお金を借りる。辛抱すれば必ずいい時が来る。それまで頑張るといふ強さがある」。これらの記述は燕の素晴らしい特徴を捉えていると思うが当局の見解を伺う。</p> <p>⑥ 施設の名称が「史料館」なので歴史的な紹介も間違いではないと思うが、事業転換を繰り返し、存在感を示し続けてきた当産地。そのエネルギーの源泉に迫る展示をアピールしたほうがインパクトがあるのではないかと思うが見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の 順序	発言 する 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
4	柳川 隆 (一問一 答方式)	2. 教育委員 会 行 政 に つ いて	(1) 地域に根ざ す学校応援団 事業のこと	①予算トータルで 11,395 千円のうち、コーディネーターと放課後学習支援ボランティアの報償金、謝金はそれぞれ1人いくらか伺う。 ②コーディネーター、ボランティアのそれぞれの人員数について伺う。 ③市からの補助金の額と、各校への分配の方法について伺う。 ④現況においてコーディネーターとボランティアそれぞれと、2つの役割の関係性においてどんな問題があるのか伺う。
5	渡邊 雄三 (一問一 答方式)	1. 児童生徒 の安全対策 について	(1) 通学路の安 全対策につ いて	①今年度行われた通学路の安全点検で、指摘された危険箇所の件数と対策について伺う。 ②これまで指摘されていた通学路の危険箇所の改善状況は、どのようになっているのか伺う。 ③昨年6月議会で指摘した下校時の児童の見守り対策については、どのような協議をされて、どのように改善されたのか伺う。 ④積雪時の通学路確保については年々改善されていると思うが、横断歩道前後の除雪がなされていない。これまでも幾度か指摘した。改善が見受けられないが、何か対策を講じているのか伺う。 ⑤横断歩道前後の除雪体制を関係機関と協議をして構築していただきたいかがか。
		2. 福服 BOOK 事業につ いて	(1) 今年度の実 績、今後の課 題について	①各地域別の件数と持ち込み品の種別、重量、人件費等にかかった経費について伺う。 ②これまで、綿、絹100%以外の化繊製品、革製品は可燃ごみ、不燃ごみとして処分していたが、古着類のリサイクルをすることでごみの減量化、環境面にどのような影響をもたらしたのか伺う。 ③市民から収集箇所を各地区に拡大してほしい、収集時間を延長してほしいと要望をよく受けるが、今後の事業の方向性について伺う。 ④回収された古着等は、古着回収業者を通じて東南アジアの国々に送り、現地で再使用されるとあるが、現地の情報は入っているのか伺う。
		3. 教育行政 について	(1) 小中学生の いじめ対策に ついて	①近年のネットいじめ等、いじめの傾向性について伺う。 ②いじめ根絶に向けた対策について伺う。 ③児童生徒をいじめから守る防止策として、いじめ対策アプリ「[STOPit]ストップイット」という、いじめ等を受けている、もしくは、目撃した子どもが匿名で報告や相談ができるというアプリケーションソフトがある。教育委員会や校長会で検討できないか伺う。
6	樋浦 恵美 (一問一 答方式)	1. 安心して 暮らせるま ちづくりに ついて	(1) ヘルプカー ドの導入につ いて	①平成30年度からの計画となる「燕市障がい者基本計画・第5期燕市障がい福祉計画」に、『緊急時や災害時、日常の困ったときに、障がいのある人が自分自身のことを的確に相手に理解してもらうことで、より早く配慮された周りの助けを受けやすくするために、「ヘルプカード」の導入をめざします。』と明記されている。ヘルプカードの導入について、市の考えを伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 安心して暮らせるまちづくりについて	(2) 除雪が困難な世帯への支援について	①北陸地方を中心に日本海側で記録的な大雪に見舞われ、燕市においても多大な影響をもたらしている。 積雪時に必要になるのが雪かきや雪下ろしなどの除雪作業であるが、高齢世帯の除雪作業は、非常に大きな負担となっている。 高齢化社会に向け、燕市においても除雪ボランティアを募るなど、除雪の担い手を確保していくことが必要であると思うが、市の考えを伺う。
			(3) 学校での心肺蘇生教育の普及促進と、危機管理体制の整備について	①突然の心肺停止から命を救うためには、心肺蘇生・AEDの知識と技能を普及する必要があるとあり、学校での心肺蘇生教育はその柱となるものである。 平成29年3月に公示された中学校新学習指導要領保健体育の保健分野では、傷害の防止について「応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生などを行うこと。」と表記されている。 燕市の小中学校における児童生徒への心肺蘇生教育の現状と、今後の方向性について伺う。 ②小中学校におけるAEDの設置状況、教職員へのAED講習の実施状況について伺う。
7	大原 伊一 (一問一答方式)	1. 平成30年度予算について	(1) 平成30年度予算の重点政策について	①平成30年度予算が発表されこれから審査を行うが、3期目を目指す市長の最も力を入れる重点政策は、何か。 ②歳入における自主財源と依存財源について。
		2. 今年の豪雪を教訓とした自然災害に対応する対策について	(1) 豪雪の被害状況について	①約40年ぶりの大雪に新潟県内における災害状況並びに本市の災害状況について ②雪による倒壊家屋の状況について
			(2) 今後の豪雪対応の対策について	①高齢者世帯や空き家に対応した雪下ろしの対策を立てておく必要性について ②新潟県が活用を始めた「雪おろシグナル」(積雪重量分布情報)の有効活用のために、市のホームページでリンクをするとともに市も積極的に活用し、市民に情報提供する体制が必要なのではないか。
3. 子供の貧困対策について	(1) アンケートから読み取る問題点について	①今回のアンケートによりどのような問題点を感じているのか伺う。		
	(2) 本市は、どのような対策に乗り出すのか	①アンケートから今後どのような対策を講じていく必要があるのか伺う。また、2月14日広島県が子供の貧困対策として朝食の無償提供モデル事業を打ち出したが、本市の具体的な対策について。 ②子供達には自らの希望する未来を、貧困により諦めることがない社会の実現が求められる。それが少子化を乗り越え、多様な職種で人材難とならないための方策でもあると考える。国縣市町村の役割分担の明確化、財源確保の方策など大きな課題があると思うが市長の考えを伺う。		

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	大原 伊一 (一問一答方式)	4. 学校給食の地産地消について	(1) 学校給食の地産地消の実態について	<p>① 東部学校給食センターが竣工するにあたり、現在の学校給食における地産地消の取り組みについて伺う。既に稼働している西部学校給食センターの地産地消の取り組み状況の推移と、今後の目標について伺う。</p> <p>② 東部学校給食センターの稼働に合わせ、燕地区での地産地消の取り組みを積極的に進めたいと伺っているが、目途はあるのか。将来の目標について伺う。</p>
8	土田 昇 (一問一答方式)	1. 市営住宅の管理・運営について	(1) 空室の問題について	<p>① 燕地区管理棟数 47 棟、管理戸数 216 戸、空室 67 部屋 吉田地区管理棟数 58 棟、管理戸数 215 戸、空室 49 部屋 分水地区管理棟数 17 棟、管理戸数 53 戸、空室 5 部屋の 原因と今後の問題点についてどのように考えて対応していくのか伺う。</p> <p>② 県営住宅についても原因と今後の問題点について伺う。</p> <p>③ 空地になっている所の管理（特に除草等々の）について、どのように考えて行動していくのかその計画について伺う。</p> <p>④ 燕地区、吉田地区、分水地区の家賃の滞納状況と今後の対応について伺う。</p> <p>⑤ 今回の厳しい寒さで水道の破裂等々はなかったのか伺う。</p> <p>⑥ 吉田寿町の雇用促進住宅の現状の認識について伺う。</p>
9	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 国道 116 号吉田バイパス整備と圃場整備事業との関連性について	(1) 吉田バイパスの必要性和昨今の災害等を含めての安心・安全の道路確保について	<p>① 地域住民の安全確保を図ることからも早急な国道 116 号吉田バイパス整備促進が強く望まれており、生活路線としての利便性の向上や安全性確保のため道路整備を求める声は切実である。</p> <p>長い期間の懸案事項でもある中で、市長は昨年末・年始等の会合での挨拶で、国道吉田バイパス整備促進に向けて抽象的な言葉であるが見通しは明るい兆しがあると話され、また、地方新聞等で報じられ、市民・地域住民は期待が増し関心がより高まってきている。地域活性化と地域住民の安心・安全を図る面からも、国・県との直近の動向を伺う。</p> <p>② ものづくり、産業のまちでもある燕市。 吉田バイパスを整備することにより、地域経済の活性化を図るためにも交通容量の拡大、交通分散による渋滞解消や、国道 116 号吉田バイパスを結ぶ国道 289 号・主要地方道吉田弥彦線・吉田富永線・燕分水線等を結ぶ広域に及ぶ主要幹線道路の機能と生活道路が持つ機能の交通分散化や円滑化を図ることができる。</p> <p>工業団地が多い燕市でもあり、通過時間が短縮され物流に関わる経費節減ができ、より経済効果をもたらす。広域での観光客の誘客、産業物流などが促進され、燕市圏域の総合的な経済発展への効果も期待できるが国道吉田バイパス整備促進と主要幹線道路の重要性について伺う。</p> <p>③ 災害発生時において緊急車両が確実に通行でき、道路が寸断されることない幹線は緊急輸送路であり、その必要性から、災害に強い道路網構築についての認識と、国道吉田バイパス整備と幹線道路の捉え方について伺う。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 国道 116 号吉田バイパス整備と圃場整備事業との関連性について	(2) 吉田バイパス 500mルート周辺の圃場整備の遅れについて	<p>① 国道 116 号吉田バイパス整備促進に向け、具現化が示されていない中、直径 500mルート通過帯周辺にある自治会・農村地域住民は今日、厳しい農業情勢の中で多様な担い手確保・育成と経営規模拡大や土地利用率の向上を図るために 12 年程前から先駆けて圃場整備に向けて話し合われてきている。</p> <p>圃場整備に合わせて農地中間管理事業等を活用、担い手への農地集積・集約を促進し、作業効率を高めるべく地元工区委員会を立ち上げ、進めようにも未だ中断して進展しない。</p> <p>市としての認識と吉田バイパス整備と圃場整備に向けた取り組み、考え方について伺う。</p> <p>② 圃場整備事業効果の指標である労働生産性の向上のための担い手の育成・確保と農地利用集積、耕作放棄地の拡大抑制、多面的機能の発揮等々、計画性をもって取り組もうとしても国道 116 号吉田バイパス整備との関連性があり先に進めることができなく苦慮している現状である。国・県・土地改良区・市として一体感をもって進めることはできないものか伺う。</p>
		2. 燕労災病院の今後について	(1) 燕労災病院の今後について	<p>① 県が県央基幹病院の建設場所が三条市上須頃の高速度路西側に決定したのを受け、平成 27 年 11 月 30 日に県央地域 4 市町村共同声明を発表。</p> <p>県の責任で環境整備・課題、不安の解消等 5 項目の実現を図るよう求めた中の 1 項目で、燕労災病院の跡地利用を燕市と誠意をもって協議することと要請を行ったが、県知事も変わりその後協議、要請活動を行っているのか動向を伺う。</p> <p>② 燕労災病院と朝日大橋との関連性について。</p>
		3. 障がい者の個性を尊重し、障がい者の人権や基本的自由を保障することについて	(1) 障がいの有無に関わらず地域の子どもとして育む意識の醸成について	<p>① 平成 28 年 4 月に「障害者差別解消法」施行に伴う解消に向けての課題認識と現状の取り組み、行政サービスのあり方について伺う。</p> <p>② 障がい者の状況、推移をみると平成 22 年以降年々増加をたどり、今後も増加傾向が予測される。この現象に対してどのように捉えているのか見解を伺う。</p> <p>③ 重症心身障がい児・医療的ケア児を介護する保護者や家族は、心理的・身体的負担が非常に高く、ショートステイ等の受け入れてくれる施設が少なく、主に病院や療育は新潟・長岡市まで行かなければならない。</p> <p>車等の移動時に子供の体力的問題、保護者の心理的負担が多いが、燕市を含め県央地域で解消に向けて協議が行われているのか伺う。</p> <p>④ 重症心身障がい児、医療的ケア児が利用できる放課後等デイサービス事業所やショートステイ事業所等の整備・拡充に対しての捉え方と見解を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 燕市の保育環境について	(1) 施設整備について	① 公立保育園、私立保育園およびこども園の保育室のエアコン設置状況について伺う。 ② 市内3地区で見た時のゼロ歳児の受け入れ施設について、受け入れ可能数でアンバランスはないか。「特別保育」の定義から、現実的な保育保障へと転換しなければならないのではないかと考えるがいかがか。
			(2) 1号認定児(短時間保育)の保障と隠れ待機児童について	① 1号認定児(短時間)受け入れの燕市の考えについて伺う。 ② 分水地区における短時間児の保育保障についてどう考えるか伺う。 ③ 「待機児童」と、2016年度に国が新たに示した「隠れ待機児童」について、燕市における現状と対応はどうか伺う。
			(3) 公立幼稚園の今後について	① 燕地区における公立幼稚園の今後のありかたについて伺う。
			(4) 保育にあたる「保育士」の現状と保育士の確保について	① 公立および私立の、保育にあたる保育士の待遇と資格の状況について伺う。 ② 燕市においても保育現場に就く保育士不足が指摘されるところだ。「潜在保育士」の掘り起こしについてどのように考えるか伺う。 ③ 保育士資格取得を希望する人に対して、「介護職員人材育成事業補助」のように市独自の資格取得支援策の実施を求めたいが、考えを伺う。
		2. 障がい者支援について	(1) ヘルプカードの取り組みと普及について	① 障がいを持つ人や支援を必要とする人達の日常の困難、特に外出時におけるの困難についてどのような声を拾われているか。 ② 障がい者や支援を必要とする人達が携帯するヘルプカードについて、導入を急いではいかがか。
			(2) 災害時の障がい者(児)への支援体制整備について	① 災害時において、障がいを持つ人や支援を必要とする人達への対応について、市の計画やこれまで行われてきた講座などでの進捗の状況について伺う。
11	小林由明(一問一答方式)	1. 燕市のPR(パブリックリレーション)について	(1) 燕市産業のPRについて	① 燕市産業のPRについての基本的な考え方を伺いたい。 ② 市内事業者との認識共有や連携が欠かせないが、どのように取り組んでいくのか。
		2. 降雪時の対応について	(1) 平成30年1月からの大雪対応について	① この大雪対応では、職員は早朝夜間そして休日登庁し、また、除雪に関わる事業者も、日夜休日問わず身を削りまさに命がけで作業にあたってくださっていた。一方で市民からの除雪依頼等は殺到していたように伺っている。今回の大雪の際の、市の対応、事業者の取り組み、市民からの除雪依頼等の状況はどのようなものであったのか伺いたい。 ② 今回の大雪への市の対応についての課題と、それを反映した今後の取り組みを伺いたい。 ③ 除雪時の路上駐車対策や交通規制など、市民への情報伝達が必要な場面が多かったと感じている。今後どのような取り組みをすべきと考えているか。 ④ 消雪パイプの井戸涸れが各所で発生し、市民生活に大変大きな影響を与えることになった。今回のような災害級の降雪に対して、臨時的な河川水利用などの消融雪の新しい取り組みの研究や、また、融雪剤の支給、計画的な消雪パイプの運用など既存の取り組みの工夫を検討すべきではないか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 今年度の除雪状況と今後の課題について	(1) 除雪状況について	①今現在の除雪の状況について伺います。 ②今現在の消雪パイプの状況について伺います。
			(2) 除雪機について	①除雪機の現在の状況について、今年のような積雪状況では対応はどうだったのか伺います。
			(3) 今後の課題について	①市民からの苦情などどのように対応したのか。また、業者からの苦情などはあったのか伺います。 ②今年度の除雪状況に対して今後どのような方向へ持っていくのかも伺います。
		2. 児童生徒の教育を取り巻く今後の課題について	(1) 教職員の働き方改革について	①学校における働き方改革の現状と今後の取り組みについて伺います。 ②他県では、夏季休業中に学校の閉庁日を設けているところが出ていると聞いているが、燕市の小中学校の現状について伺います。
			(2) キッズウィークについて	①国は、いわゆるキッズウィークの導入に向けて法改正をしたが、燕市はどのように考えているのか伺います。
		3. 健康づくりマイストーリー運動の推進について	(1) 健康づくりマイストーリー登録者について	①健康づくりマイストーリー登録者は、平成26年度3,109人、平成27年度6,349人、平成28年度8,898人、平成29年度11,508人と年々上がっていますが、登録者の内容について伺います。 ②児童、生徒への対応はどのようになっているのかも伺います。
			(2) 健康づくりマイストーリーのポイントについて	①健康づくりマイストーリーのポイントの現在の状況について伺います。 ②ポイントの利用状況について伺います。 ③今後の課題について伺います。
			(3) 健康づくりマイストーリーの児童・生徒について	①今回視察に行った静岡県袋井市では、教育委員会とタイアップをして食育の面と色々な面で児童・生徒に健康づくりの話をしたり、また徳育などを含めて、すまいる手帳などを活用したりして、幼稚園・保育園・小学生・中学生に参加してもらい健康ポイントを活用しているとのことでした。燕市では現在、教育委員会も含めてどのような状況なのか伺います。
		4. 人口増対策について	(1) 少子化対策について(浜松市を参考にして)	①婚活イベントの実施状況について伺います。 ②婚活アドバイザーについて伺います。 ③婚活相談について伺います。 ④家族形成意識の醸成について伺います。 このことに関係するのは、今回視察に行った静岡県浜松市では、市内の高校・大学生等に対し、人生設計に結婚や家族形成を前向きに描けるよう出前講座などを活用し情報提供を行うということですが、燕市の現在の状況についても伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 県央医師会応急診療所について	① 県央医師会応急診療所への構成市町村参加と応分の負担を求め、今回で6回目の要請を加茂市長に対してされたが、回答はどのようにあったのか伺う。 ② 加茂市民の平成27年度、28年度、29年度、県央医師会応急診療所への年間利用者数は何人なのか伺う。 ③ 県央基幹病院の取り組み進捗も考えると、加茂市には対話だけでなく思い切った圧力も必要な時期に来ているのではと思われるが、燕市長の考えを伺う。
		2. 行政問題について	(1) 公営住宅の家賃滞納について	① 公営住宅は生活に困窮する低所得者を支援する目的としているが、燕市内の入居者で家賃滞納期間別件数と金額を伺う。 ② 滞納の背景には、行政による生活状況の把握や福祉支援が不十分な面などはないのか、滞納理由を迅速に把握していれば生活状況の悪化も防げるのではないかと、担当の考えを伺う。 ③ 保証人を確保できない入居希望者に、保証人免除の特例や、家賃保証会社の利用を認める配慮はされているのか伺う。
			(2) 自殺対策計画策定について	① 自殺対策基本法の改正により、自治体が2018年度末までに策定することが義務付けられているが、燕市の現状を伺う。 ② 燕市内の自殺者数は、この3年間何人で自殺者数を表す自殺率は県を上回っていないのか、SOSの出し方を教えていく必要性について伺う。
		3. 政党機関紙購入について	(1) 公費による政党機関紙購入について	① 燕市が毎月公費で購入している政党機関紙は、何部で何種類・金額はどのくらいあるのか伺う。 ② 燕市庁舎内で職員個人に対して政党機関紙の勧誘、配達・集金が行われている実態があるが、燕市長は把握され許可されているのか庁舎管理規則上問題はないのか伺う。
			(2) 職務の中立性から庁舎内での販売活動は禁止すべきではないか	① 職務の中立性の観点から庁舎内での政党機関紙の販売を禁止する自治体もあるが、検討し是正すべきではないか当局の見解を伺う。 ② 燕市長が許可容認されているとしたら、市民の大切な情報を預かる市庁舎内に立ち入り、政党機関紙の勧誘・配達・集金等が行われていることは問題があるのではないかと。個人が購読を強制されることのないよう、管理徹底していただきたいが当局の見解を伺う。
		14	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 道の駅「国上」の指定管理料について

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	タナカ・キン (一問一答方式)	2. スポーツ拠点化推進事業について	(1) アスリート弁当について	<p>① 1月28日、旧燕工業高校校舎棟を活用してリノベーションした多目的武道施設「燕北多目的武道場」の完成オープニングセレモニーが行われ、それに合わせて「アスリート弁当」が発表された。「アスリート弁当」の販売で年間665万円の経済効果が期待できると説明されていたが、その算出方法について伺う。</p> <p>② 当日、「アスリート弁当」が来賓や関係者等に配られ、私も会場で試食してみた。弁当が冷えていたが、実際に販売するときに、電子レンジで温めるということは考えていないか伺う。</p> <p>③ また、配布された資料の中で、燕の「背脂ラーメン」が「背油ラーメン」と表記されており間違っているのではないかと。12月定例会の一般質問で、道の駅「国上」の食堂の貼り紙が、やはり「背油ラーメン」になっていて指摘されたばかりである。資料が作成され配布されるまでにどのようなチェックをしているのか伺う。</p>
			(2) 食育研修会について	<p>① 波及効果促進事業(アスリート弁当開発など)には、アスリート弁当の開発の他にも、オリパラ等経済界協議会に協力してもらい協議会参加企業によるスポーツ指導者、保護者向けの食育研修会を実施することになっていましたが、食育研修会の内容について伺う。</p>
		3. 燕三条市実現について	(1) 燕三条市実現について	<p>① 燕三条青年会議所は新年の賀詞交換会で会員約70人、来賓約30人を前にして、理事長はあいさつの中で「燕三条青年会議所は昨年、改めて燕三条市実現を力強く宣言し、総合戦略に沿って活動を進める。ただ、我々が叫んでも実現はしない。皆さんの指導、協力が必要。人の考えは十人十色で考えが違ってても、この地域を良くしたいという思いは同じはずなので、共通したビジョンを描きたい。このまちの未来をきちっと提案し、市民の皆さんに丁寧に説明したい。そのためにも議会の皆さんに教えを請い、行政や関係団体の皆さんと一緒に進めたい」と話した。</p> <p>将来の燕三条市実現について市長の考えを伺う。</p>
15	宮路敏裕 (一問一答方式)	1. 小規模企業支援施策について	(1) 小規模事業所の後継者問題の現状認識について	<p>① 地域経済を担う事業者の後継者問題は、ものづくり地場産業においても、商業・サービス業など小売店においても深刻な問題であると思うが、それぞれの現状認識について伺う。</p>
			(2) 小規模企業高度化支援事業について	<p>① 「燕市産業振興協議会」について構成する有識者とは、どのような識見の方々か伺う。</p> <p>② 「燕市小規模企業高度化支援補助金」について、要件の中に「設備導入により、労働生産性付加価値額年平均3%以上が見込まれること」とあるが、「申請」ではどのような説明内容を求めるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	宮路敏裕 (一問一答方式)	1. 小規模企業支援施策について	(3) 国の小規模企業支援策を市内事業者が活用した後押しについて	①小規模事業所を支援する国の補助事業である「ものづくり・商業・サービス新展開補助金」及び、「小規模事業者持続化補助金」について、市内事業者が活用した事例などあるのか伺う。
		2. 教育施策の充実について	(1) 就学援助制度の一層の充実について	①就学援助は、お子さんのいる家庭の保護者が申請し、基準に該当する世帯を認定することとなるが、該当するご家庭が概ね申請しているものと見込んでいるのか認識を伺う。 ②「援助費目」に「クラブ活動費」を含めている自治体があるが、本市におけるこの間の「制度」改善の取り組み趣旨から言えば、同じく含めるようにすべきではないか所見を伺う。
16	吉田勝利 (一問一答方式)	1. 公営住宅の管理に関する件について	(1) 市内公営住宅の管理人はきちんと依頼されているのか	①各々の公営住宅には管理人はいるのか、いない所もあるのか。 ②管理人の仕事の内容はどのようなものなのか。 ③市営と県営では管理人の仕事に違いはあるのか。 ④公営住宅には、高齢者も多いと思われるのだが、管理人のいない公営住宅には今後も依頼しないままなのか。
		2. 通勤、通学路の確保について	(1) 今冬の大雪に関して通勤、通学路の除雪と消雪パイプのチェックについて	①通勤や通学のための道路確保について除雪作業は順調に行っていたのか。 ②消雪パイプの水の出ない箇所があちこちにあつて道幅も狭くなっていたが、業者によるパイプの点検はしっかりできていたのか。 ③消雪パイプの水涸れによる水の出ない所も市内あちこちにあった様であるが今後の除雪対応は考えているのか。
17	山崎光男 (一問一答方式)	1. SNSを活用した燕市の活性化と、交流・応援(燕)人口の増加について	(1) インスタグラムを活用した燕市のまちおこしについて	①昨今、インスタグラムをはじめとした SNS は、全国各地多くの自治体でまちおこしに活用されている。燕市観光協会は、昨年 12 月末に公式インスタグラムを開設、「#tsubametrip」を付けて投稿すれば、世界中のユーザーが燕市の情報を共有することが出来る。 分水おいらん道中など、燕市の色々なイベントの様子、魅力的な風景や隠れた名所・名店、美味しいグルメなどの写真・動画を投稿し、燕市の魅力を国内外に知ってもらおうよう、市民や観光客にホームページや広報、チラシなどでもっと PR できないか。考えを伺う。
			(2) 「SNS 観光地」としての燕市の魅力の掘り起こしについて	①「SNS 観光地」とは、たとえば千葉県木更津市の江川海岸のように、Twitter などの SNS で拡散され話題になり、多くの人を訪れたことにより観光地化した場所のことで、このような SNS 映えするスポットは全国にあり、ネットでも紹介されている。 本市でも「インスタ映え」するスポットや、ラーメンスイーツに代表されるインスタジェニックな食べ物を、市や観光協会のホームページ、インスタグラムなどで紹介し、世界中からの観光客誘客につなげられないか。考えを伺う。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
17	山崎 光男 (一問一 答方式)	2. 子どもの 貧困問題 に関する、 食の面か らの対策 について	(1)子ども食堂 (地域食堂) の普及拡大に ついて	<p>①経済的な事情で食事が十分に取れなかったり、独りで夕食を取る「孤食」だったりする子どもたちに、無料か、格安で食事を提供する「子ども食堂」は、今や全国に600カ所以上あるとされ、新潟県内にも30以上存在する。2月にまとめた、「ひとり親家庭等の生活実態に関するアンケート調査報告書」で、燕市にもそのような子どもがいることが明らかになった。</p> <p>本市では、昨年3月から吉田日之出町において「地域食堂」という名で開設、活動を行っているが、さらなる支援の他に、「子ども食堂」の存在価値をもっとPRして、他の地域でも行う仕組みづくりができないか。当局の考えを伺う。</p>
			(2)フードドライ ブの普及促 進について	<p>①フードドライブとは、家庭や企業で余ったり不要になったりした食品を、福祉団体や施設等に持ち寄り、それらを必要とする人々にフードバンクを通して寄付する活動で、全国的に実施されている。</p> <p>先述のアンケート調査報告書で燕市においても経済的に困窮し、食費を負担に感じている家庭が少なくないことが分かった。</p> <p>昨年10月、燕市社会福祉協議会法人本部でフードドライブが行われたが、燕市でも開設所を増やしたり、寄付された食品の保管庫を設けたりするなど、もっとフードドライブの活動を普及促進できないか。当局の考えを伺う。</p>